

# 新計画の基本的事項(事務局案)

資料1-1

項目	設定	設定理由	留意点
基準年度	2013(H25)年度	国の基準年度と同じとすることで、目標設定にあたっての整合がとりやすい。また、達成状況についても評価しやすい。	基準年度以前にすでに実行計画の中で実施されている施策の効果が反映されない。
現状年度	2013(H25)年度	現状で把握できる最新の年度を使用することで、より確度の高い将来推計を行うことができる。	国のエネルギー消費統計が1990年(H2)年にさかのぼって改定されたなどことから、本市の排出状況についても修正を行う必要がある。 また、都道府県別エネルギー消費統計の値も1990(H2)年度にさかのぼって改定中である。 確度の高いデータとするため、温対法に基づく「特定事業者排出量データ」を利用する必要がある。
目標年度	2030(H42)年度	2020年といった短期目標では期間が短いため効果の表れにくい施策や取組であっても、2030年であればそれらの効果を想定した上で積み上げ方式での目標設定が可能である。	進捗評価について検討する必要がある。 ※(参考)COP21において、主要排出国を含むすべての国が削減目標を5年ごとに提出・更新することが義務付けられた。
削減目標	1 温室効果ガス排出量 2 エネルギー消費量	1 市民や事業者の節電の効果が直接的に反映される。 2 排出係数の変化によって目標達成への計画のシナリオが狂う可能性がない。	併記した場合、目標の達成状況の評価について検討する必要がある。

(参考)

項目	現行計画		新計画(案)		千葉県地球温暖化防止計画	千葉県(新計画案)※	政府目標	日本の約束草案
	区域施策編	事務事業編	区域施策編	事務事業編				
策定年月	2012(H24)年3月		2016(H28)年		2006(H18)年6月	2016(H28)年度前半	2013(H25)年11月	2015(H27)年7月
計画の期間	2012(H24)～2014(H26)年度		2016(H28)～2030(H42)年度		2006(H18)～2010(H22)年度			
基準年度(注2)	1990(H2)年度	2009(H21)年度	2013(H25)年度	2013(H25)年度	1990(H2)年度	2013(H25)年度 又は 2005(H17)年度	2005(H17)年度	2013(H25)年度 (2005(H17)年度)
現状年度(注3)	2007(H19)年度	2009(H21)年度	2013(H25)年度	2013(H25)年度				
目標年度	2014(H26)年度	2014(H26)年度	2030(H42)年度	2030(H42)年度	2010(H22)年度	2030(H42)年度	2020(H32)年度	2030(H42)年度
目標	△10%(注1)	△11.9%	(検討中)	(検討中)	△1.3%	(今後設定)	△3.8%	2013比△26.0% (2005比△25.4%)

注1) 現行計画における目標の対象部門は、家庭、業務、運輸、廃棄物部門

注2) 基準年度を1990年にしている計画では、代替フロン等3ガスの基準年は1995年度としている。

注3) 現行計画では、現況年度と呼んでいる。

※出典:平成27年度第1回 千葉県環境審議会企画政策部会資料(平成27年9月17日開催)